

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

 池田町

VOL. 15

令和2年11月15日発行

【主な内容】

議案審議及び施政方針 2～3

町政に問う 一般質問 4人が登壇 4～7

委員会審議

総務厚生常任委員会 8

文教経済常任委員会 9

決算常任委員会 10～11



池田米
かたちを変えて
マイバッグ



こってコテいけだにてマイバッグ作り

町長施政方針及び諸事の報告

新庁舎・新図書館建設 町民会議中間報告について

建設場所等を中心とした協議の結果、文化交流会館を取り壊し、その跡地を活用した、建設が適当との報告をいただいている。

報告内容は、行政サービスの利便性の向上、現文化交流会館の利活用状況、維持管理費など諸条件について協議され、本案が有益であるとのことであった。

今後、この意見を基本案とし現在検討中である、木望の森プロジェクト、バイオマスエネルギー導入モデル計画との整合性を図り、本事業を前進していきたい。

地方創生戦略町民会議について

今日までに6回(9/24時点)の会議が開かれ、グループ討議や全体討議が繰り返されながら、熱心な議論が行われている。

座長の北川太一教授(摂南大学)からは、内容の掘り下げには時間が必要との意見もあり、未熟な論議での答申では本意ではないと考え、答申期限を12月から来年2月まで延期する方向で考える。

池田中学校生徒自死事件 損害賠償請求訴訟について

9月16日、第1回公判が開かれ、原告、被告の双方において、訴状に基づき口頭弁論が行われた。

町としては引き続き真摯に対応して参りたいと考えている。

コロナ感染拡大に伴う町民の暮らしの 安全確保と地域経済活動の支援について

第2次となる、コロナ感染拡大に伴う支援事業については、インフルエンザ予防接種の無料化や、光インターネット環境の充実、さらにはネット環境の充実を活用したICT情報教育促進へ向けての校内環境整備についても実施。

また、域経済支援策としては、長引くコロナ禍の中で回復が遅れている、飲食業、宿泊業を中心に支援策の実施していく。



主 な 事 業

新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策

- ・インフルエンザ予防接種を無料化 ……620万円
コロナとインフルエンザの同時流行に対処するため、本年度に限り、全町民のインフルエンザ予防接種を無料化。
- ・公共施設や町内交通機関の感染防止対策の徹底 ……664万円
公共施設や公共交通機関の、感染防止のための物品や抗菌減菌処理の実施や、インターネットを活用した会議機材の整備。
- ・災害時における避難所の感染防止対策 ……679万円
災害避難所における感染症防止対策のための、簡易ベッド等の購入や、情報手段の強化。
- ・光インターネット環境の整備 ……1億1,919万円
光ファイバー回線による、高速、大容量可能なネット環境の整備の実施。
- ・全児童生徒への1人1台タブレットの実現 …1,731万円
義務教育の段階から、ICTを活用することにより、児童生徒の情報活用力の育成。

- ・「税カムバック to ごちそう事業」 ……973万円
町内での消費行動を促進するため、町民が町内で買い物された際の10%分を、町内飲食店で使用出来る食事券を1世帯当たり最大1万円還元。(協賛店に限る)
- ・「まちむら交流・マイクロツーリズムキャンペーン」 ……460万円
県下8町経済振興を目的に、嶺北2町以上、嶺南2町以上で、それぞれ1,000円以上のお買物をし、応募した場合、抽選の結果、8町特産品12,000円相当がプレゼントされる。
- ・「宿・食業者 コロナストップ支援事業」 ……422万円
町内の観光関係事業者(宿泊、飲食サービス事業者)が実施する、感染防止対策物品の購入や抗菌減菌処理の経費を、本年4月にさかのぼり、施設規模に応じ支援。
- ・「ウェルカム to いけだキャンペーン」 ……250万円
県内の誘客を促進するため、各種メディアを活用し町の魅力を発信し、秋冬の教育旅行等の積極的誘致の支援。

ツリーピクニックアドベンチャー整備委託費追加

- ・第2期整備計画に追加し、樹上アスレチック整備のための委託費 ……824万円

9 月 定 例 会

一般会計補正予算 1億9,950万1千円の追加

(専決処分含む)

9月定例会が9月24日から30日の7日間にわたり開催され、一般会計補正予算の専決処分1件と、一般会計および特別会計の3つの補正予算、条例に関する7議案、その他5議案、計16議案が提出され、全議案可決されました。

今回の補正予算につきましては、主に新型コロナ対策について計上されました。

また、10月22日には、町内小中学生全員分の教材用タブレット購入契約について臨時会が行われ可決されました。

定例会で提案された議案

議案第53号	専決処分の承認を求めることについて(専決第9号 令和2年度 池田町一般会計補正予算(第5号)) …なかよしこども園の食器消毒保管庫の故障に伴う更新に128万5千円を追加し、総額を37億2,791万5千円に
議案第54号	令和2年度 池田町一般会計補正予算(第6号) …新型コロナ対策を含む各種事業費に1億9,821万6千円を追加し、総額を39億2,613万1千円に
議案第55号	令和2年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) …はっとプラザの清掃委託費23万6千円を追加し、総額を3億2,960万2千円に
議案第56号	令和2年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第2号) …主に前年度の事業費確定により、国への返還金等851万5千円を追加し、総額を4億2,919万7千円に
議案第57号	池田町議会議員及び池田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について …公職選挙法の一部改正に伴い、立候補者の経済状況に関係なく等しく選挙活動が行うことができるための条例制定
議案第58号	池田町特定公共賃貸住宅設置及び管理条例の一部改正について
議案第59号	池田町営集合住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第60号	池田町若者定住促進集合住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第61号	池田町地方創生子育て支援住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第62号	池田町サービス付高齢者向け住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について …民法の一部改正に伴い、町営住宅関係の連帯保証人の保証債務の極度額の追加
議案第63号	池田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部改正について …福井県「子どもさんふくくプロジェクト」に連動しての、第2子の保育料無償化とする改正
議案第64号	町道路線の認定について
議案第65号	町道東俣線の路線変更について …一般国道476号(東俣バイパス)の完成に伴う、旧道の町道引き受けのための認定
議案第66号	令和元年度 池田町各会計歳入歳出決算の認定について …令和元年度の一般会計他7つの特別会計の歳入歳出決算の認定について
議案第67号 68号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて …佐藤 秀幸 氏(新保) 佐飛 正美 氏(常安) 2名の任命同意

【審議結果】 議案第66号については、宇野邦弘議員が反対、その他15議案は全員一致で採択

意見書の提出について

発議第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について
-------	---

【審議結果】 全員一致で採択

令和2年第4回臨時会(令和2年10月22日開会)

臨時会で提案された議案

物品購入契約の締結について(池田小中学校タブレット端末等整備事業) …入札結果に基づき、契約金額15,521,000円(うち消費税相当額1,411,000円)にて、福井システムズ株式会社と契約

【審議結果】 全員一致で採択

町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、
自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

一般質問



宇野 一正 議員

商工応援金について

日本で新型コロナウイルスが広がり始めて半年が過ぎようとしている。このようなか、池田町商工業者も飲食業はじめ、多くの事業で対前年比多くの落ち込みがあり、製造業においては80%〜90%の減少がありまったく先が見通せないのが現状である。

この状況下、商工業のみならずは、それぞれにたいへんな自主努力をされている。池田町独自の考えで地域を支えている商工業者の支援をお願いしたい。

企画幹 池田町商工業

応援金では、各事業者の売り上げ減少に応じてきめ細かな支援を行うため、申請も2ヶ月ごとに受け付けている。

また、業種などによって影響が異なることを考慮し、来年の3月末まで支援できるように予算を措置した。

しかし、財源が限られていることから、国や県の支援制度も考慮し、上限額を法人20万円、個人10万円とさせて頂いている。

分譲地について

数年後、国道417が開通すると、中京方面から人のながれが増え、池田町に住みたい人が益々増えると思われる。

池田町の自然が満喫できる所、公共機関が近くにある所、インフラが整っている所等それぞれに応じた住宅を造って、町内外の住宅を求めている方の受け皿を作る必要があるのではないかと考えている。

新築を希望される方には、50坪位の土地を無償で譲りしてはどうか。

総務財政課長 町としては、これまでのような、大

池田終いについて

池田を離れて、年数が経過し、代替わりするにつれ、だんだん池田に足を運ぶことが少なくなり、所有している土地の管理が出来なくなっているようである。

町としては、このような方々から土地の寄付をいただき、有効活用を考えられないか。

木望の森づくり課長 池田町では、町に土地等の寄付の意向のあったもの

きな区画を団地化し、一か所に移住してもらうのではなく、様々な地域に移住定住拠点を点在整備していくことが、地域の活力、コミュニティ醸成にも有効ではないかと考えている。

これらは、住民の主體的な取り組みとして、移住者の受入活動に取り組む地域を主に、受入の整備を図っていききたいと考える。

なお、寄付を受けた山林は木望の森100年プロジェクトにより、森林の多角的機能が発揮されるよう、実験林として利用していきたいと考えている。

一般質問



宇野 邦弘 議員

町長は遺族の思いをしっかりと受け止め 裁判での和解・調停を

先日の遺族の提訴による町の答弁書では「体罰を加えるなど明らかに違法なものではない」と報道されているが、この答弁は許せない。これでは事故調査委員会の最終調査報告書をどこまでうけとめたのか疑わしい。

調査報告書では「担任副担任の激しい指導叱責にさらされ続けた本生徒は、周囲の理解、協力が得られな

いこの孤立感、絶望感を深め、ついに自死に至った。学校内での自死という重大な事態を招いたことについては、学校の対応に問題があったと言わざるを得ない」と述べ、「宿題の未提出をめぐってこの生徒は泣きながら、過呼吸になった」と指摘している。これなど体罰そのものではないか。また、報告書では町の対応について、「遺

族に対する本件事故後の対応に慎重さと誠意が欠けており、初期対応を誤った」と述べている。

教育総合会議が何回行われ、町長は調査報告書をどこまで深く受け止めたのか。町長は事故後、マスコミ対応などでも全く前面に出てこなかった。裁判に至る背景にはこうした町長の姿勢に問題があったのでは。損害賠償責任訴訟に対し「争う」態度を改め、(裁判の過程で)和解も受け入れるように。

教育長

事故調査報告書で指摘されているように、町の責任はあると考えている。5400万円余の損害賠償における責任については裁判中なので答えは差控えたい。和解、調停の提案があれば考えていきたい。

事故調査報告書を受け外部講師による生徒をより理解するための研修、毎日の生徒に関する情報の共有と生徒に寄り添った相談体制の整備など再発防止策を実施している。報告書を踏まえて総合教育会議を4回開催し、新しい教育大綱を決定してきた。事案発生後遺族と話し合いを進める中で、ご要望にこたえ、再発防止策など具体的に実施してきたが、納得を得ることができなかった。

町長

議会は、町の最高決議機関であり、議論の場である。しかしそれは、良識の上に立った議論であるべきだ。今の議論は、我々を悪意、悪者と言わんばかりの論調であり遺憾だ。

私も、この問題について、事をつたえたり、横においてといった対応はしていない。町民の全てが衝撃を受け、悲しみある事件として受け止めている。教育長も誠実にひたむきに、ご遺族の方に大変申し訳なかったという対応をしてきている。

印象操作するような論調は、慎んで頂きたい。

関係者や地元集落への説明は行っているのか

1期事業の計画に、能面美術館はない。「文化ゾーン」として位置付けている須波阿須神社近辺にと考えている」とのことだが、関係者は、「二度も正式には聞いていない」とのこと。

町全体が農村文化ゾーンでもあり、稲荷近辺だけでなく文化ゾーンなのか。能面関係者も「関係者の意見も聞かないで計画を進めるのはおかしい」と語っている。

冠山トンネルの開通によって福井県の入りの一つとなる地域の再開発は当然必要。現計画案のアウトドア的な施設だけでなく、越前焼や漆器など県内地場産業の店等も必要でないか。

農村政策課長

1期事業で、もくもくハウス周辺に公園や、飲食ブース、情報発信コーナーを整備する計画。第2期で、冠荘の改築などを計画しているが、具体的な検討はこれから。1期について8月末に志津原の住民を対象とした説明会を開き、測量の許可を頂くとともに、計画に概ね

農家の持続化給付金について

ただですら再生産が困難なコメ農家にとって新型コロナウイルスの影響による米の暴落は深刻な問題。

町長

特定地域を文化ゾーンとしては決めていない。志津原も稲荷も、水海の田楽能舞も含め、それぞれが農村文化ゾーン。

農水大臣は国会で、「農業分野では極めて柔軟な対応で、税務申告した農業者すべてが対象になる」と答弁している。この制度は赤字でも申請でき、今年の年間収入を判断基準にしない。

農村政策課長

農業者も国の持続化給付金の対象となる。その条件は、税務申告をした農業者、新型コロナウイルスの影響等により、今年1月から12月のいずれかのひと月の事業収入が、昨年の平均月収の50%以下であることの2つ。農業者からの申し出があれば、相談に応じる。

町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

一般質問



丸石 純一 議員

志津原再開発計画について

志津原再開発計画の目的は？

現在池田町では多くの大型公共工事が着工されており、志津原地区においても観光振興を目的とした公共工事が計画されている。

私は、観光振興の真の目的は「観光客をふやすこと」ではなく、「地域を元気にすること」だと考える。どんなに立派な施設を作っても、どんなに面白い遊具があっても、そこで働く人や雰囲気から元気がにじみ出ていないと、観光客の心を引きつけるブランド力のある地域にはなっていないと感じている。

住民も参加しやすい計画を！

しかしながら、今回の志津原地区の再開発計画については、どうも住民主体ではなく、行政主体の施設づくりになってきており、町民の多くは、なにか作らしたいという認識しか中々持っていないのが実情であると感じている。そのため、数年後に合わせて町民の活動やまた町内業者も照準をあわせて計画を立てていくことが中々できていない。新しい施設ができるのならばそこで働く人になるべくはやくアプローチをしていくようなこともしていかなければならない。

一般質問



飯田 拓見 議員

木望の森100年プロジェクトにおけるエネルギー事業調査研究と「新役場庁舎と図書館建設」関連について

森を活かし、「資源と経済が循環維持する」町づくりのための、自然エネルギー利用の調査研究の推進は、誠に必要なのであり、期待もしている。

そこで、今後の事業研究の進め方と事業研究計画等について考えを伺う。

また、新庁舎、新図書館の建設に当たっては、地元産材を利用した木造建築や、バイオマスエネルギーの活用も併せ今後の計画及び、現交流会館跡地に建設するとなっているが、新庁舎等建設場所と現在の庁舎跡地との関連について考えを伺う。

総務財政課長 現在、木質バイオマス熱供給インフラシステムの構築に向けて、周辺施設への熱エネルギーの供給検討や、木質チップ供給コストの試算等を専門家とともにやっている。

ソフト面の進捗状況は？

新聞報道や議会では施設の概要や設備などのハード面の情報は開示されているが、人材獲得や技術面、意識の共有、情報といったソフト面の進捗状況を伺う。

積極的な情報公開を！

また地元説明会、池田町民向けの説明会、町民がどの様に関われるのか、またどの様に関わってほしいかという内容がここ最近抜け落ちていくと思う。池田町では、小さな活動をみんなで共有することで、大きな成果となっている実績が多々あるが、今回の志津原再開発計画では行政主体で動いていると認識しているが、どのような状況か。

計画はいつごろ示してもらえるか？

志津原再開発計画は一つの事業といえる。多額のお金をかけても、失敗する可能性もある。建物を建てるだけの貯金はある、補助金

もあるが、運営で赤字を出し続ける計画になるならば、やらない方がよい。失敗したら、税金で補填することとなり、その責任は大変重大な問題となってくる。そうならないためにも、事業計画を5年10年と示して欲しいが、可能か？

最後に、令和2年2月にだされた池田町観光むらづくり計画にも示されたように、「誰もが池田町広報マンとなる」とあるが、そのためにも今後ますます積極的な情報共有をお願いしたい。

企画幹

運営体制について検討を進めていく

もくもくハウス周辺の再開発については測量に着手した段階。今後、施設等の設計や運営体制について検討を進めたい。

町民と協力しながら運営していきたい

池田町としては、事業主体としてリーダーシップを

県立武生高校池田分校の廃校後の跡地利活用計画について

現在、閉校となっている武生高校池田分校の利活用について、県はどのように考えているのか。現在までに、建物の所有者である福井県と、敷地の所有者である池田町と、今後の利活用に向けた連絡調整はなされているのか。

6期任期の成果及び今後の課題について

杉本町長には、今期の最終年度に当たるが、これまでの「行政成果」と「今後の課題」をどのように総括されているか伺う。

町長 4年前、自治力の再興、開発から育成をテーマに拡大、開発を主眼に考えるばかりではなく、改善改良あるいは、充実化について取り組む、そしてその実効成果の基礎になるものが住民自治の力ではないかと取り組んできた。

次期、町長改選への意志について

杉本町長には、町行政の先頭に立ち様々な政策課題の解決に向け対応されてこれられ、これらの努力に敬意を申し上げると共に、来年1月には、町長選挙も予定されている中、現状を踏まえ、再度の町政推

発揮しつつ、町内事業者の協力も得ながら、運営したいと考えている。

地元説明会などを行う

次に情報公開についてだが、今後、用地交渉等も予定していることから、情報については慎重に取り扱いたいと思っている。用地交渉等が完了し、計画が具体化した段階で、必要に応じて地元説明会等を開催したい。

丸石再質問

志津原再開発計画の全体像はいつ示してもらえるか？また資金面での計画はどのタイミングで示してもらえるか。

企画幹

令和5年度春の冠山峠道路開通目標に、現在施設運営体制の詳細を検討中。庁内で検討結果がまとまりしだい、報告する。収支計画も当然必要になるので、検討後報告する。

利活用案については、県は現段階において、具体的な構想案は持ち合わせていないとの事であり、池田町で提案があれば積極的に対応するとの事であった。

町としては検討の時間を頂き、教育施設としての利点を生かせるような構想案作りに臨みたい、引き続き意見調整と共に今後の支援をお願いしたいところである。

さらには教育向上プランの提案と実行、脳べるプロジェクトの取り組みは全国に誇れるものと認識している。

また、課題弱点と言えるものは、人口減少、高齢化などによる人や地域の空洞化により、町民の相互扶助の自治、地域の自治力低下への支援、また観光関連事業者における提携・連携事業の展開支援、農福連携の展開など、町内資源を連携させる事業展開においては、まだ未熟であり、重要な課題の一つであると考えている。

に対して心から敬意を表しお礼を申し上げる次第でございます。

次期、町長選挙改選にあたりましては、町民の皆様の尊いご支持と、ご支援が頂けるよう、今一度、志の原点、町政に臨んだ初心に立ち挑んで参りたいと考えております。



文教経済常任委員会

委員長
佐野和彦

副委員長
松井靖明

岩崎昭一
宇野一正

宇野邦弘
丸石純一

質 疑 応 答

総務厚生常任委員会

委員長
飯田拓見

副委員長
宇野一正

和田義則
松井靖明

宇野邦弘
丸石純一



快適にインターネットを楽しむために

和田議員 光ファイバー架け替えに伴う事業で、福井ケーブルテレビに加入している家庭での引き込み工事費等の負担や利用料金の変更はあるのか。

またケーブルの張替え工事はどの範囲で行い、完成時期はいつ頃か。

総務財政課長 工事費負担は継続を希望する家庭からは頂かない方針だが、新規の場合は負担して頂く事になる。

工事範囲は、幹線上的ものを張り替える計画で、完了時期は、令和3年7月までの見込みである。

同時に令和3年4月ぐらゐから新たな加入の募集も行う予定。

現 行	光ケーブル整備後	変更なし
120メガ [¥4,550]	1ギガ(1000メガ) [¥4,550]	
100メガ [¥3,950]	100メガ [¥3,950]	
10メガ [¥3,450]	廃止	

宇野邦弘議員 情報通信基盤整備事業について、光ファイバー架け替えに伴う、事業費および国県費の内訳は。

総務財政課長 福井ケーブルテレビが事業主体で、事業費1億7,200万円。うち池田町からの補助額は1億1,918万円だが、その財源は国からの交付金となる。

丸石議員 光の接続で、公共施設等でのワイファイ通信環境の恩恵はあるのか。

総務財政課長 現在、ワイファイ通信環境が使える施設は通信環境は良くなると考えているが、新たな施設の設置はこれから検討となる。

宇野一正議員 避難所でのワイファイ通信の整備は。

総務財政課長 役場、開発センター、交流会館等は現在も利用でき、それ以外の避難所は今後検討する。現在、コロナも見据えた、避難所のあり方・位置付けを検討している。

老後も安心して暮らせる町に

宇野一正議員 障害者の方の就労支援としての、ほっとプラザの清掃委託について、清掃のベースは（障害者優先到達推進法に基づき就労支援を行う）。

保健福祉課長 10月から3月末までの期間で基本、毎日行う。

利用者として施設の方の2名で1時間程度行う。

現在、町内の障害福祉サービス事業所と契約している。

松井議員 一人暮らしの高齢者の方々の、緊急時の通報システムはあるのか。

保健福祉課長 現在、導入しているシステムは、電話回線にてボタンを押すとセンターにつながり、そこから消防や警察に連絡がいくようになっていく。

現在の利用者は10名だが、設置したという安心感があるものの、なかなか利用されていないのが現状である。離れた場所から通報が出来るペンダント型もあるが、常に身につけることが出来ず、外している方も多い。



地域の方とのさつま芋掘り

タブレットは、個人の学習をより深めるためのツールとして活用するものと考えている。

小学低学年の子ども達には、視覚、聴覚なども取り入れ、学習に興味を示すものを選定し、学習に活かしていきたい。

コロナでの休業、災害等により緊急な休業に対応すべく、自宅での学習に活かせるものとして有効と考える。

松井議員 意見

インターネットの情報だが正しいと思ってしまふのはいささか危険と思う。タブレットはあくまで、1つのツールと認識してほしい。インターネット上の情報は多すぎて、間違ったものでも信じてしまふのは危険。

松井議員 意見

池田の気質で、救急車を呼ぶと周りに迷惑になるのではと思っている方もおられるので、非常時に自動的に通報するシステムの導入も検討すべきではないかと思う。

宇野邦弘議員 居宅介護住宅改修費で90万円補正しているが、「住宅機能改善支援事業」との併用は出来るのか。

保健福祉課長 併用は可能。ただ、居宅介護住宅改修事業が優先となる。

新庁舎、図書館建設について

宇野一正議員 交流会館の解体等により、返還は生じないのか。

副町長 交流会館は、起債償還完了の為、返還の対象とはならない。

飯田議員 新庁舎や新図書館建設を議論し合う町民会議での内容公開や今後のスケジュールは。

総務財政課長 町民会議の内容は、ホームページで公開している。

副町長 新庁舎については、町民会議のメンバーだけでなく役場職員の中からもメンバーを募り、内部研究会立ち上げ、検討を進めている。

志津原のTPAの拡張整備

宇野邦弘議員 今回の補正825万円をベースに設計委託するのか。

企画幹 当初予算で、300万円の設計委託料をいただいております、この予算でTPA拡張計画の実設計を進める。

今回の825万円は、拡張整備を行う「子ベンチャーパーク」と、「アドベンチャーパーク」のエリアを、樹上コースにて結び、一体的な整備を計画するものである。

丸石議員 今回の計画

に食のスペースはないが、食はその観光地の満足度を満たすのに大きな要因だと思う。また、想定される来客者数はどのくらいなのか。

企画幹 食に関しては、TPA拡張部分で事足りることではなく、まちの駅、池田屋、コムニタ等もあり、地域または町内を周遊していただきたいとの考えもあり、今回は入っていない。

来場見込みであるが、現在施設を利用いただいている方は4万人、また利用していない方も同じく4万人程度はおられると聞いている。

その他

丸石議員 池田町の上下水道が高いとの声がある。特に少人数家族での下水利用料が高く感じられ、実際の使用量に応じた料金設定はできないのか。今後の料金の見直しは。

町土整備課長 上水使用料に比例し下水道料金を算出する方法があるが、池田町の場合は、自家水（個人の井戸、区の水道等）を利用している場合もある。そのため一律に上水使用料による下水道料金の算出は出来ないこともあり、一般住宅1世帯当たり2,700円／月＋世帯員1人当たり500円／月となっている。現在、料金見直しの予定はない。

質疑応答

※各課への質疑より一部抜粋

委員長 佐野和彦
副委員長 丸石純一
岩崎昭一 飯田拓見 和田義則
宇野邦弘 宇野一正 松井靖明

総務財政課

宇野邦弘議員 ちっちゃな幸せ実現事業について、どのように審査しているのか。

課長 審査は6人の委員および申請者も含め審査する。申請者にプレゼンテーションを行ってもらっている。宇野邦弘議員 富田家住宅の今後の活用は。
課長 活用調査の結果、古民家ホテルなどが提示された。

佐野議員 意見 全国的に古民家ホテルはあるが、運営は、地元だけでは難しいのではないか。プロのアドバイザーが必要だと考える。

松井議員 無くなったはずの京福バスの補助金が令和1年にあるのはなぜか。

課長 半期ごとで清算していくため、H30年度下半期分。

佐野議員 マイバスの人件費他750万円の内訳は。

課長 人件費470万円その他燃料費など経費も含め750万円。歳入は90万円。

住民税務課

宇野一正議員 火葬場から出る臭いの件で苦情はあるか。

課長 近隣住民からの直接的苦情はない。
佐野議員 火葬場の建て替えは。

課長 建築昭和52年。炉の増設昭和60年。定期的修繕を行っている。現時点で建て替えの計画はない。

農村政策課

丸石議員 有害鳥獣の処分の方法は、焼却施設など検討しないのか？

課長 埋設処分、経費も含め支払いとしており、焼却施設は計画していない。

佐野議員 牧場管理賃金とはなにか？



能楽の里牧場よりの展望

課長 部子山にある能楽の里牧場の草刈り費用。

丸石議員 2年連続でスキー場の休業について、TPAに業務委託をしていると思うが、今後どのような対応になるのか。

副町長 今年は、他の場所ですタッフの受け入れを考えている。休業は今年度のみと考えている。

木望の森づくり課

岩崎議員 林道野尻千代谷線の完成予定は。

課長 コストを抑え年間の完成延長をのばし、早期全線完成を目指す。

飯田議員 杉の木の皮剥被害が大きい状況であるが、

ネット巻の補助は出しているのか。

課長 町は補助していないが、県の事業で行っている。
岩崎議員 過去に行った林業機械導入補助に対し稼働（利用）実績の状況は。

町土整備課

和田議員 中大橋の完成予定は。

課長 現在の橋梁の長寿命化工事（表面修繕）も含め約3年後。

丸石議員 町内の道路の「外側線」「止まれ」のペイントがはがれている箇所について関係機関へ要望等を出しているのか。

トンネル等の大型工事に伴う車両の増加も原因の一つと考える。観光客の安全も考慮し要望願いたい。

課長 要望までは行っていない。町内の国道の管理は県が行っている。安全関係

保健福祉課

宇野一正議員 成人の引きこもりへの対応は、保護者の高齢化も心配である。

課長 訪問し、まずは本人や家族の気持ちの聞き取りを重点に行っている。また町内の障害福祉サービス事業所につなげられるように対応を行っている。

課長 メタボ、糖尿病の方が増えている。特定健診の受診率は県内トップ。早期発見、早期治療が重要であり、予防のための「脳べるプロジェクト」の推進に今後も取り組んでいく。

町税・公共料金の未収金について

複数の議員より全体を通して決算上の未収入金についての質問や意見が出されました。

問 平成30年度には、町税、公共料金の収納率96・7%だったのが、令和元年度には96・3%と低下している。中でも国民健康保険税については、令和元年度には91・1%と、町税、公共料金の中で最も収納率が低くなっている。どのような現状か。

副町長 税、公共料金併せて、お願いだけでは無理ではないかと考える。弁護士に相談をした結果、財産差し押さえなどの手続きを行い平等性を保つ事が大事との指導を受けている。

無断接続（下水道）、時効事案も含め法的手段を念頭に対応していく。議会の皆様にも後押し願いたい。



決算監査時における浄水場施設視察

課長 申請件数は増加傾向にある。
和田議員 配水管の老朽化による管更新工事はどこで行っているのか。
課長 現在は、土合皿尾地区で実施。また橋梁部の添架管は稲荷橋、池田橋において実施。

佐野議員 水道使用料のメーター検針を、自動通知出来るシステムを検討してはどうか。

松井議員 町民ブルの監視員に対して、熱中症対策は。
教育長 側面のカバーを外し換気を良くして対応している。また事務所にはエアコンがあり休憩をとりながら対応している。

課長 このようなシステムがあるのは把握しているが、池田町ではスケールメリットはがないものと考え、現在、導入の予定はない。
教育委員会
宇野一正議員 野尻グラウンドの照明は、スポーツ競技を行うにあたり光量を満たしているのか。
教育長 球技が出来る程度の照度はある。

岩崎議員 意見 野尻グラウンドのゲートボールコートは8面とれるが、ナイターの関係で暗くて2面がやっと使用出来る程度なので検討してほしい。

松井議員 町民ブルの監視員に対して、熱中症対策は。

教育長 側面のカバーを外し換気を良くして対応している。また事務所にはエアコンがあり休憩をとりながら対応している。

足羽川ダム対策特別委員会

定例議会ごとに行われている足羽川ダム対策特別委員会で、足羽川工事事務所と福井県土木部からの進捗状況などの報告がありました。

ダム工事事務所

・ダム本体一期工事が清水・大林特定建設共同企業体（JV）と契約され、11月15日に起工式が行われます。令和8年度完成予定です。
水海川導水トンネル工事の二期事業は（株）安藤・間が、約2467mより掘削開始。また、来年度は、水海川分水施設（水海地区）の施工に着手するための準備工事を予定しています。



町民限定の「現場見学会」

10月24日には福井市・坂井市からのバスツアー（工事現場とかずら橋等）、翌25日には町民限定の「現場見学会」が開催されました。

県土木部河川課

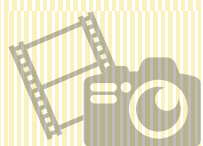
地域振興策として

・板垣坂バイパスのトンネル工事は9月末で170m掘進。越前市側の工事契約も行われました。令和6年度には供用開始の予定で進んでいます。
・白栗バイパスのトンネル工事はトンネル工事が始まっています。これは令和5年度には開通予定です。

足羽川ダム本体建設（第1期）工事について



※11月初旬に現道を迂回路に切り替え、部子川を転流します。



表紙の写真

レジ袋有料化の流れを受け、「こってコテいけだ」で町オリジナルのエコバッグが販売されました。

このエコバッグは、「池田町社会福祉協議会」と「まちUPいけだ」が共同企画し、米袋をアップサイクルするだけではなく、売り上げの一部が、赤い羽根共同募金を通じて池田町のための活動に助成されます。

バッグ作りに協力いただいているのは、池田町婦人福祉協議会のみなさんです。

編集後記



広報委員会として議会だよりに携わり2年目を迎えました。議会だよりは発行開始から、もうすぐ丸4年が経ちます。前回伝えきれなかった所、新しく伝えたい所、私達も編集作業を繰り返していく中で議会の様子や雰囲気を通して伝えたいと考えています。特に委員会での質疑応答は重要な政策を決定していく中で大きな役割を果たしています。その一部を抜粋し議会だよりに掲載していますので、ぜひ目を通してください。魅力ある議会、そして議会だよりになるように精進してまいります。

（丸石純一）

議会広報特別委員会

議長	委員	委員	委員	副委員長	委員
和田義則	松井靖明	宇野一正	佐野和彦	丸石純一	宇野邦弘

発行責任者

和田義則